

賀茂地区の煙火講習会に 100 人以上出席

伊豆分場だより第 368 号にて、伊東・熱海地区の漁業者で組織する伊豆東部一本釣協議会が、新たなキンメダイの食害対策として、食害生物を音や振動で追い払うための花火(煙火)を導入し、試験を行ったところ一定の効果が得られたと報告しました。その後も、1月20日に漁業者がキンメダイを釣り上げながら煙火を使用したところ、いつもであれば全て食害を受けるところ、針にかかったうち、半分は食害を受けなかったとのことで、やはり一定の効果があることが考えられました。

これらの結果を受けて、6月7日には下田市や東伊豆町、南伊豆町等の漁業者で組織する「賀茂船主組合連絡協議会」が下田市に講師を招き、煙火を使用するために必要な講習を受講しました。当日は東京都神津島の漁業者も含めて計114人もの参加がありました。

食害被害の遭遇率は過去に比べて増加していると推定されており(分場だより第362号より)、漁業者の食害対策への関心が非常に高まっているため、100人以上の方が出席していただいたと思います。また、会場も今までいくつかの食害対策を漁業者に提案させていただきましたが、その中でも煙火は効果が分かりやすく、使用方法によっては食害生物への強い忌避効果を発揮すると考えています。煙火という食害対策の新しいツールをうまく活用し、食害被害が軽減することを期待しています。



写真1 煙火講習会の様子



写真2 煙火

(高田伸二)